

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「不死鳥は少女が微睡む中で」

テーマ：「誰とも関わろうとしないのに、主人公にだけは懐く美少女」

キャラクター

40

ストーリー

40

テーマ(設定)

35

文章力

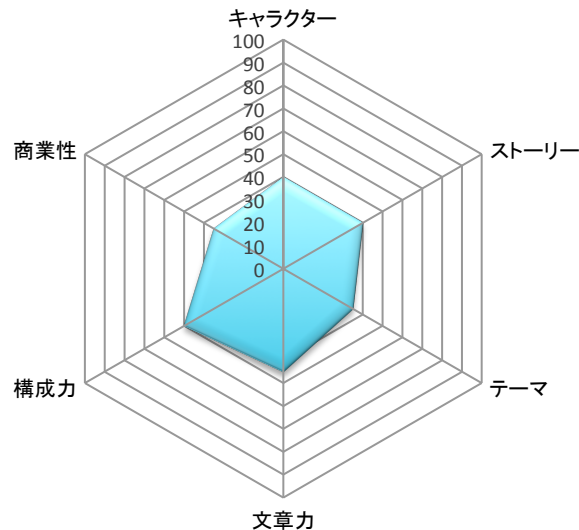
45

構成力

50

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・人の死を扱う場合、ストーリーから構成、作品のメッセージ性まで緻密に作り上げられた作品にしなければ「そんな簡単なノリで人の死を扱うな!」という印象を買い易い。まずトワがあと半年で死ぬというのなら、なぜあと半年なのか、半年と分かるまでどのような治療を行って来たのかといった具体的な背景が欲しい。とりあえず何かの病気であと半年で死にますというのでは、人の死をただの作品の設定の一つとしてしか扱っていないように感じてしまう。しかもあくまで作品のスポットライトがあたっているのがトワの死ではなく、トワの死を通じて夢をもち成長する主人公にあるので、より「トワの死」が踏み台設定化されている。このような点は読み手によってはものすごくネガティブに受け取る人もいるため、もっとシビアに考えてプロットを練るべきだったと感じる。

・作者様の構成力や文章力そのものについては、ほとんど不備を感じない。起承転結ははっきりとしており分かり易く、しっかりプロットが練られていることを実感する。今回は人の死という難しいテーマを扱ったために実質の点数が低めにできているが、恐らくごく普通のテーマで作品を書いていれば点数はさらに高かった。

合計加点ポイント 0

総得点: 245 / 600

B方式総合得点: 10004 点